

# 中高生を対象とした医師の職業体験実習

と き 令和6年8月4日（日）9：30～12：05

ところ 山口県医師会6階

[報告：理事 白澤 文吾]

医療職への理解を深めるとともに、その魅力を体験していただき、将来、県内で活躍してくれる医師を養成することを目的に本事業を開催しており、今回で6回目となる。

県内の中学校、高等学校に開催の案内を行ったところ、54名の応募があり、全員に参加していただくこととした。

なお、県内の新型コロナウイルス感染症の報告数が増加傾向にあったため、参加者にはマスク着用と手指消毒を徹底して、開催した。

当日は、美祢市病院事業局の清水良一先生、山口大学医学部の桂春作先生、久永拓郎先生、竹内由利子先生、山口労災病院の白澤由美子先生、山口大学医学部6年生の学生16名にご協力いただいた。また、本会からは茶川常任理事、藤井理事、森理事と私が参加した。

はじめに清水良一先生から、救急蘇生の実技に繋がる内容で、生命を維持するためのエネルギー代謝について講義をしていただき、その後、参加者は6つのグループに分けて、採血、心肺蘇生、血圧測定、縫合・結紮、気道異物の除去をそれぞれ体験した。なお、今回も「医学生へ何でも聞いてみよう！（医学生への質問と山口大学病院紹介のコーナー）」というブースを設置し、現役の医学生と中高生が直接、いろいろと話ができるようにした。また、今回は参加者の増加に伴う対応として、新たに「気道異物の除去」の体験を追加した。

最後に、私から山口大学医学部の入試制度やカリキュラム、山口県の地域医療の現状等について話をした。

今回の体験を通じて参加した中高生が、一人でも多く医師やコメディカルとなり、山口県内で従事されることを願うばかりである。

## 参加者の感想（抜粋）

### 面白かったこと、勉強になったこと

- ・医師になった時に必要な知識・技能から、常識として知っておくべきことまで学べて、とても勉強になった。
- ・医師を志しているという、勉強のイメージしかなかったが、体力や精神力、手先の器用さまで鍛えることが必要で、改めて医療関係の仕事の大変さを学ぶことができた。
- ・医師はすごくやりがいがある仕事。責任感もあるけど私もなってみたい。
- ・縫合・結紮が勉強になった（6）
- ・縫合・結紮を初めてしたけど、上手くできた。
- ・実際の器具を使用した上で縫合・結紮の体験ができ、自分でやると思ったようにうまくできなかったのが勉強になった。
- ・やってみたかった縫合・結紮ができて、すごく勉強になったし、うれしかった。
- ・縫合・結紮は、裁縫みたいで面白かった。
- ・縫合・結紮は普段やったことがなかったけれど、コツをつかんだら、できるようになったのが楽しかった。もっとレベルアップしたいと思った。
- ・心肺蘇生が勉強になった（6）
- ・心肺蘇生の時に、周りの人に声をかけてから始めること。AEDを持って来る前から救急車が来るまで絶えず胸骨圧迫をしないといけないこと。
- ・心肺蘇生で思ったよりも力を入れないといけないこと。
- ・道に倒れている人がいたときに対応できるよう、心肺蘇生の方法を学べたのがよかった。（2）
- ・今日の体験の中で一番身近な心肺蘇生を今後、活かせるようにしたい。
- ・最初の講義が勉強になった（3）

- ・タンパク質にはリンが必要ということ、体の温度が40℃を超えると機能しないと知れてよかった。
- ・清水先生の「ヒトが生き続けられる体の仕組みについて」、加えて白澤先生の「医学教育と地域医療の現状」の講義を聞いて、とても勉強になった。
- ・一定量のATPを体内に保つために心肺蘇生など緊急の対応をとるとのこと。
- ・医療の現状について知れたこと。
- ・医学生生活を知れたこと。山口県の医師の現状を知れたこと。
- ・山口県の医師平均年齢が高いことを初めて知った。
- ・現役の医学生に質問ができて、とてもよい刺激になった。(6)
- ・医学生の方と実際に関わることができて、大学や医学部についてイメージすることができた。
- ・採血のやり方がとても分かりやすかった。
- ・採血の際に針を抜く前にバンドをとらないと、血が吹き出してしまう。
- ・注射器の取り扱い方が難しかった。
- ・今日、面白かったことは採血で、初めての体験だったが、分かりやすく教えていただき、刺す時の角度やゴムの付け方など、新しいことがたくさん学べた。
- ・採血の際に腕をしめるゴムを完全に結ばないことでとれやすくなること。
- ・採血の針の角度が15～30°だということ。
- ・採血が勉強になった。

- ・医師ではなくても人を助けられるということ。
- ・採血や縫合の体験でより医師としての活動にイメージが湧いた。
- ・気道異物の除去や心肺蘇生は今からでも訓練すればできそうだったので、覚えておきたい。
- ・気道異物の除去と心肺蘇生は特に勉強になった。いざ自分が実践しようとする、学校の保健の授業などで習ったこともあるが、うろたえてしてしまったので、練習することができて良かった。
- ・採血や気道異物の除去など、技術がいるものは難しかったが、とても面白かった。
- ・気道異物の除去の方法が分かった。
- ・実際に役立つことを学べてよかった。
- ・縫合や採血は普段できるようなことではないので、とても楽しかった。
- ・医師がやるような処置を実際に行えたこと。

#### 難しかったこと、あまり理解できなかったこと

- ・気道異物の除去が難しかった(4)
- ・腹部圧迫法が難しかった。(2)
- ・気道異物の除去の力の入れ方が難しかった。(7)
- ・採血が難しかった。(3)
- ・採血の手順を覚えるのが難しかった。
- ・採血をとる時に血液がよくとれる部位を見つけることが難しいと感じた。
- ・実体験の中では縫合・結紮が一番難しいと感じたが、インストラクターの先生方の分かりやすくて的確な指示のおかげで、やり遂げることができた。



採血



心肺蘇生

- ・縫合・結紮は楽しかったが、不器用で少し難しかった。
- ・縫合がとても難しく、傷を縫う大変さを知ることができた。
- ・縫合・結紮が難しかった。(8)
- ・縫合・結紮の器具の扱いが難しかった。(3)
- ・最初の講義が難しかった。(3)
- ・血圧測定が難しかった。(5)
- ・血圧測定の力加減が難しかった。(2)
- ・血圧測定の際、音がほとんど聞こえず難しかった。(2)
- ・心肺蘇生の手順が難しかった。
- ・採血と縫合・結紮は慣れないと難しいと思った。
- ・採血の手順や注射器の持ち方が難しかった。(2)

その他の意見

- ・また機会があれば参加したい。(3)
- ・とても勉強になる実習でした。ありがとうございました

- ・いました。(3)
- ・本日はこのような機会をいただき、誠にありがとうございました。
- ・医学生の方々がフレンドリーに話しかけてくださったのがうれしかった。
- ・受験に使える知識を教えてくれて助かった。
- ・医師の夢への思いが強まりました。
- ・山口大学の生徒さんの話をより聞きたかった。質問の前に自己紹介があるほうがやりやすい。
- ・医師になるために勉強をがんばりたい。
- ・外科がいいなと思った。
- ・日常生活にも活かせるような知識を身につけられたので、役立てていきたいと思った。
- ・タンザニアに医療体験をした。タンザニアとは縫合の仕方が違うことに驚いた。
- ・たくさんの体験やお話を聞くことができ、とても有意義な時間になった。



血圧測定



縫合・結紮



気道異物の除去



医学生に聞いてみよう